

一般社団法人 鳴門板野青年会議所
2021年度 青少年育成委員会

副理事長 三石 昇太郎

委員長 新居 優貴

現 状 分 析	<p>鳴門市在学高校生アンケート調査によると今後も住みたい、一度は出るが戻りたいとの回答が全体の約46%でした。半数以上が分からない又は住みたくないと答えています。その理由として、行事ごとが少ないなど、まちの活気が不足していると答えている若者が大半でした。また、事業の周知方法はSNS及びポスターなどの紙媒体が主でした。これらに加え、更なる周知方法を考案し、参加員数増加を目指すため、私たちが解決策及び新たな手法を見出す必要があると考えます。</p>
設 置 目 的	<p>昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、様々なイベントが中止となりました。まちの活気を取り戻すのはもとより、子供たちが心から楽しめる事業を企画するとともに、多くの人より認知と賛同を得るため、新たな試みとしてクラウドファンディングを行うことによって、私たちが企画する事業へ多くの子供たちに参加してもらうことで、感受性豊かな地元愛の溢れる青少年の育成を目的とします。</p>
連 携 概 要	<p>■クラウドファンディングを学ぶ例会の実施</p> <p>近年では、多くの団体でクラウドファンディングを用いた事業構築が主流となっています。アイデアに対する共感や信用力を資金に換え、広く大衆から支援いただくことも可能になりました。このようにクラウドファンディングを活用することで対象となる事業への理解が深まり、より多くの賛同者を得ることができ、事業のさらなるブラッシュアップにつながります。そのため学びの場として、講師を招きセミナーを企画します。</p> <p>■10月事業の企画・設営</p> <p>基本理念がRe：スタートであることから、過去の事業内容を見直し新たに構築していきます。本年は延期となっている東京オリンピック・パラリンピックが開催されることにより、私たちのまちから将来の日本代表選手を目指す子供たちに向けたスポーツイベントを企画します。また、地域資源を活用し地産地消を推進するため、まちのお店と協力し肉フェスだけではない新たな食の祭典を提供し、通り過ぎる地域から滞在される地域を目指します。私たちが愛するまちの、郷土文化を肌で感じられる場と、食の融合により地域の魅力を発信できる機会をつくり、子供たちが誇れるまちづくりを兼ねた青少年育成事業を行います。</p>
S D G s	2、3、4、8、11、16、17
パ ー ト ナ ー	鳴門市、ムラサキスポーツ、テレビ鳴門、徳島新聞